

山形県立上山明新館高等学校吹奏楽部 第30回記念定期演奏会

ロビーにて上山高・上山農業高時代からの資料を30周年記念展示いたします！



2024年

9月22日(日)

山形市民会館大ホール

開場 13:30

開演 14:00

—GUESTS—

上山市立南中学校吹奏楽部

山形市立商業高等学校吹奏楽部

山形県立荒砥高等学校吹奏楽部

山形県立山形南高等学校吹奏楽部

—PROGRAM—

第1部

- ・アルセナール
- ・行進曲「勇気の旗を掲げて」
- ・シェナンドゥーア
- ・ストラクチュアIII

第2部

- ・ロッキン・リッキー・ロケット
- ・ダンス&プレイステージ
ムーンライト伝説～硝子の少年
～第ゼロ感～インフェルノ
- ・ビッグバンドジャズステージ
It don't mean a thing
Song for my daughter
闘牛士のマンボ
Tequila

第3部

- ・アルメリアン・ダンス パートI
- ・シーガル クラリネット独奏 早坂穂乃花(3年)
- ・歌姫～美空ひばりメドレー～ 2021年版
悲しき口笛～東京キッド～港町十三番地
～おまつりマンボ～真っ赤な太陽～悲しい酒
～リンゴ追分～愛燦爛～川の流れるように～

入場無料!

【お問い合わせ】

上山明新館高等学校(本田・兼子)

☎023-672-1700

✉hondar.ix@yamagataps.jp

YouTube Instagram Facebook X(旧Twitter)



ポスター制作
吹奏楽部2年 今野 新大

出演者プロフィール

<第3部ゲスト> 上山市立南中学校吹奏楽部

上山市立南中学校吹奏楽部は今年で創部54年目を迎え、現在3年生7名、2年生14名、1年生14名、計35名で活動している。部員全員が中学校から楽器を始めたメンバーである中、昨年度の県コンクールでは2度目の金賞を受賞するなど、現顧問・長藤龍志先生の指導の下、近年着実に実績を上げ、その実力は県内有数の中学校バンドとして評価されている。部のスローガンは「一期一奏(一生に一度しかない毎回の演奏を心から楽しむこと)」。今回のジョイントステージでは1・2年生28名での出演。



<第3部ゲスト> 山形県立山形南高等学校吹奏楽部

応援団所属のブラスバンド愛好会を前身とし、昭和35年(1960年)、山形南高校吹奏楽部、通称「南吹」が創部される。昭和後期から平成中期にかけて、吹奏楽部コンクール東北大会の常連校となり、3度の全国大会出場などの功績を残す。平成後期から部員減少が続き、令和元年には小編成となる。その後も部員減少は続き、一昨年度末には3名まで減少。存続の危機を迎えるも、顧問の協力のもと多くの新入部員を迎え、現在は3年生1名、2年生5名、1年生9名の計15名で今年度の活動をスタートさせた。伝統の部訓「謙虚・向上・感謝と思いやり」をこれまで以上に重んじ、1年生が全体の半分以上であるが、学年の垣根を越えて協力し日々活動している。



<第3部ゲスト> 山形市立商業高等学校吹奏楽部

今年で創立106年を迎える山形県内唯一の市立高校、通称「山商」。校訓は「諭誠」(自己を偽らず、他を偽ることなく、真心をもって物事をなす)。この校訓は先輩方から脈々と引き継がれ、山商生は恵まれた環境のもと、自分の可能性を広げようと何事にも全力で取り組んでいる。山商吹奏楽部は1960(昭和35)年に創部され、今年64年目を迎えた。今年度は7名の新入部員を迎え、2年次生2名、3年次生8名、計17名で活動している。部員たちは検定試験や資格取得に向けた学習で疲れた心身を大好きな音楽で癒やそうと、音楽室にやってくる。小編成の良さを活かすことができるようなクリアで明るいサウンドを目指し、日々練習に励んでいる。今回の貴重な経験を通じて、吹奏楽を愛する多くの仲間と交流し、良い刺激をたくさん受けるとともに、音楽の素晴らしさをもっともっと実感したい。今回は1・2年次生での出演。



<第3部ゲスト> 山形県立荒砥高等学校吹奏楽部

1977年頃、ギター・マンドリン編成を母体とした音楽部から吹奏楽班として創設。昭和50年代および平成一桁期には大会出場など対外的な活動を展開するも、部員数減などにより約20年間コンクール不参加の時代が続いた。2016年コンクールに復帰し、2017年以降3年連続地区優秀・県大会銀賞受賞、2018年にはアンサンブルコンテスト金賞・創部初の地区代表2団体出場。部員不足の時代より19年間継続した白鷹町内保育園訪問演奏の実績により、2019年山形県青少年育成県民会議表彰受賞。定期演奏会は、2003年に白鷹町内にて開催した「一般音楽愛好者の方との合同演奏会」を母体とし、2023年で20回を重ねるなど、精力的に活動中の地元で愛されるバンドである。



<主催> 山形県立上山明新館高等学校吹奏楽部

1993(平成5)年、上山高校と上山農業高校との統合校として上山明新館高校が開校。両校の吹奏楽部を引き継ぎ、開校と同時に創部。平成中期にかけて、大編成吹奏楽部として地域に根ざした活動を展開する。近年は少子化に伴う学級減により部員数は漸減する中、吹奏楽コンクール高校小編成の部で東北大会出場1回を果たすも、その後ますますの部員減が続き、2021年度末には5名まで減少、存続の危機を迎える。

2022年度より現顧問・本田礼教諭着任のもと復活へのリスタートを切り、5月現在3年生6名、2年生4名、1年生9名の計19名で活動を展開している。昨年度の大会では地区コンクール優秀賞、県コンクール銀賞をいただく。今年、スローガン「心腹之仲」を掲げ、最大の目標である第30回記念定期演奏会の開催へ向け、新生・明新吹部を築くべく“日日新たに”活動中である。



2024.5.17 明新館高校合奏室にて